

防潮堤(堤防)の設置工事を始めました

福島第一原子力発電所の事故発生以来、地域の皆さまに大変なご心配とご迷惑をお掛けしており、改めて心よりお詫び申し上げます。柏崎刈羽原子力発電所では、既に実施済みの津波に対する緊急安全対策に加えて、津波の浸入・衝撃から敷地内の安全上重要な施設を守るため、防潮堤（堤防）を設置する工事を11月1日に開始しました。

図はすべてイメージです

着工した防潮堤（堤防）
■：鉄筋コンクリート造擁壁タイプ
■：改良土盛土タイプ

海抜15mライン

ゲート

ゲート

1号機 2号機 3号機 4号機

展望台

7号機 6号機 5号機

海抜15mライン

海抜15mライン

海抜15mライン

1～4号機側（荒浜側）：敷地高さ 海抜約5m

◆鉄筋コンクリート製の高さ10mの堤防を作ります。

現状

完成後

長さ：約1.5km

高さ：約10m（海抜15m）

約1m

約3m

約2.5m

幅：約15m

5～7号機側（大湊側）：敷地高さ 海抜約12m

◆セメント改良土により高さ3mの盛土をします。

現状

完成後

長さ：約1km

セメント改良土による盛土

高さ：約3m（海抜15m）

セメント改良土により置換

幅：約10m

- セメント改良土の盛土により津波の力と地震の揺れに耐える構造とします。
- 既設の斜面の表層部もセメント改良土により置き換えます。